

# 活動成果報告書

平成29年度（第21回）「チヨダ地域保健推進賞」

## 活動テーマ

みんなが親子の応援団

～育てにくさを感じるこどもへの子育て支援・親支援～

応募グループ名称及び氏名（グループの場合は代表者名）

二宮町役場 健康づくり課 保健予防班

代表者：阿山 宏子

勤務先：二宮町役場

所 属：健康福祉部 健康づくり課 保健予防班

所在地：〒259-0123

神奈川県中郡二宮町二宮1410

TEL：0463-71-7100

FAX：0463-72-6086



## ◇活動方針

発育発達等に課題を持つ親子に対し、小集団の場面等で子どもの発育発達の助長、保護者支援を目的とした教室「おひさま教室」と親子の関わりに課題を持つご家庭にたいし「のびのび教室」「すくすく教室」を展開した。子どもの発育発達を助長するプログラムを導入し、保護者には子どもへの関わり方等を伝えながら、育児の不安の軽減を図った。また、療育機関に繋げるための見極めを行い、今後の方向性を共に考え、支援をしていく場とした。発育発達等を課題としている児に対して関わるおとなたち（保育園や幼稚園の教諭等）に対して、保育園や幼稚園に専門職が訪問し専門的なアドバイス（巡回相談）や研修会（発達支援連絡会）等を行い、親子だけではなく親子を取り巻く社会資源へのアプローチも行った。

# 活動成果報告書

## ◇活動内容とその成果

(親子に対して) 「おひさま教室」 金曜日に開催 (年34回)

未就園・年少年中・年長クラスに分け、通年で月3～4回の発達支援教室を開催。発達支援のかかわり方に関する助言ができる幼稚園教諭・臨床心理士を中心に教室を展開。保健師は他機関との連携や全体を見る立ち位置で配置。親子が地域での孤立を防ぐために、ボランティアとして主任児童員にも教室に参加をしていただいた。

半年を1クールとし、初回および中間、最終時に臨床心理士の面接を導入し、子どもへの成長の評価と保護者に対して子どもの成長を感じる場面の作成。

遊びを通して、「自分をコントロールする力」「周りと合わせる力」「見通しをつける力」を毎週積み重ねることによって、児の強みを伸ばし、集団生活を過ごせるように展開。

(保育士や幼稚園教諭などの支援者に対して)

発達支援連絡会の開催。町内の保育園・幼稚園等の職員を対象に、年に1～2回、発育発達に課題を抱える子どもたちの理解や親子に対しての支援方法、環境調整の方法を経験する研修会及び職種間の連絡会を開催。また、巡回相談事業では各幼稚園や保育園を対象に年に2回ずつ臨床心理士と保健師を派遣し、登園している幼児についてのかかわりのアドバイスを行うとともに母子保健との連携強化をし、行政と園が一丸となって子育て支援・親育て支援の展開を目指している。

## ☆活動成果

(親子に対して)

子どもに対しては経験を積み重ねることによって、苦手部分の底上げ、得意部分の保証を行なった。保護者に対しては、子どもの特性やかかわり方、過ごし方を教室で体感し、積みかさねることにより、子育ての不安軽減につながるよう支援をした。また、療育機関等でのフォローが必要な子どもに対しては、安心して次のステップに進めるよう、教室で保護者との信頼関係の構築を図った。教室を卒業後も保健師や臨床心理士が定期的に面談をし、幼稚園や保育園に専門職を派遣した際に様子を確認し、保護者にフィードバックし、保護者・園・行政がネットワークを組んで子育てをサポートしている。子どもの成長、発達に伴う不安に寄り添える関係性を意識して、構築中である。

(支援者に対して)

当課の専門職との関わりによって、課題を抱える子どもへのかかわり方、環境調整の方法等を伝える。各園での教育方針がある中で、発達に理解が必要な子どもに対して、少しずつ理解を得て、視覚支援を取り込んだり刺激を減らしたりと、園の中でも関わり方の変化が見られている。今年度は、環境調整をテーマに開催。回数を重ねることによって、園との顔が見える関係を築き、子どもの強さを伸ばすかかわりの意識付となっている。

## ◇今後の計画

発達に課題を抱える親子に対して、縦からも横からも切れ目のない支援、多方面から関わることで、安心して子育てができる体制づくりを目指している。まだまだ目標半ばであり、今後とも子どもに寄り添った支援をしていきたい。

# 活動成果報告書

(関係図)

